

# わが家のうちどく

親子の心を満たしてくれる絵本のある生活



2017年1月29日  
木村あゆみ

# 自己紹介

- 夫と子ども（小1）の3人家族
- 行橋市在住
- 個人事業主
- 英語絵本の会代表
- 読書ボランティア 今川小 いまがっば倶楽部
- 福岡うちどくネットワーク会員

# わが家の家読　読み聞かせの歴史

1. 自分のための読書・朗読　2005～  
英語の多読（洋書ばかり）
2. 赤ちゃんへの読み聞かせ　2010～  
出産後も自分のための朗読  
子どもへの絵本読み聞かせ（英語と日本語）
3. 子ども達・大人達への読み聞かせ　2013～  
家、学校、図書館での読み聞かせ（英語と日本語）

# どのように読み聞かせる？

- 決めた時に（夕食後、就寝前など）
- 読む本は子どもと読み手で決める
- 理解の確認はしない
- 解説は必要最小限に
- 子どもの興味を引くための言葉かけ

# 選書について

- 子ども目線

今興味を持っている言葉や事柄などに関わりのある本、楽しい本を選ぶ

- 大人目線

語彙や表現のレベルアップ、少し長めのお話でも興味が持てそうな本を選ぶ

# 読書と子ども成長

- 読み聞かせをするからといって・・・
  - ✓ 本好きになる？
  - ✓ 言葉の発達が早くなる？

期待しない

読み聞かせが子どもにもたらすものは、外から容易には測れないものかもしれない

# なぜ読み聞かせ？

- 今しかない子どもとの時間の共有が楽しい
- 日常会話にはない世界や言葉たちに浸れる
- 家族間のふれあい（対面のコミュニケーション）



# なぜ読み聞かせ？

うちどく（家読）＝ 家族ふれあい読書

うちどくの精神

家庭内のふれあいで学ぶ、人とのつながり  
→ 人として最も大事なこと



学校と家庭の両輪で！



# 最後に

- いつからでも本好きになれる！（親も子も）
- 家族のふれあいには、読み聞かせ（家読）が最高！
- 「できない」と思ったらそこで終わり。今と未来を変えられるのは本人の意志1つ！

家、学校、図書館などで、絵本の読み聞かせを楽しみたい。  
楽しさを共有したい！

